

平成
30年度

姉妹都市ハンガリー・ソルノク市派遣事業 帰国報告会を開催しました

4月21日(日)、役場議事所において遊佐町国際交流ハンガリー・ソルノク市派遣事業帰国報告会が行われました。平成30年度の派遣事業には生徒団員12人、大人団員2人の計14人が参加。報告会には保護者や来賓も含め40人ほどが出席しました。団員一人ひとりが壇上に立ち、ソルノクでの思い出や、今後の抱負をスピーチしました。その後の昼食会では、インタビューを交えながらそれぞれの思い出話を語り合いました。



ハンガリー・ソルノクでの思い出を発表

交流事業の主な行程

- 1日目 役場で出発式、羽田空港からブダペスト経由でソルノクへ
- 2日目 市役所・県庁・学校訪問・ホストファミリーとの対面式
- 3日目 ソルノクでホームステイ(幼稚園・小学校訪問)
- 4日目 ソルノクでホームステイ(ソーセージ作り・さよならパーティー)
- 5日目 ブダペストへ移動、市内観光
- 6日目 ウィーンへ移動
- 7日目 ウィーン市内観光、フランクフルト経由で日本へ
- 8日目 日本到着、役場で到着式



◀インタビューの様子

ソルノクでの
思い出の1枚 ▶



プレミアム付商品券に関するお知らせです

プレミアム付商品券とは？

消費税・地方消費税の10%への引上げが所得の少ない方(住民税非課税の方)・小さな乳幼児のいる子育て世帯の方の消費に与える影響を緩和することを目的として、プレミアム付商品券の販売を行います。

●購入対象者／

(①と②の両方対象の方は両方の条件で購入可)

①令和元年度の住民税が課税されていない方

※課税されていない方であっても、課税されている方に生活の面倒を見てもらっている方(配偶者や扶養されている方等)、生活保護の受給者などは対象外となります。

※本年1月1日時点で住民票がある市区町村から、購入対象者と思われる方には、8月上旬をめどに購入引換券交付申請書を郵送する予定です。

②学齢が3歳未満のお子さまがいる世帯の世帯主の方

⇒平成28年4月2日から令和元年9月30日までに生まれたお子さま

※本年6月1日時点で住民票がある市区町村か

ら、プレミアム付商品券の購入引換券が郵送されます。

●購入限度額／

①の該当者：1人につき

2万5千円(販売額2万円)

②の該当者：対象児童1人につき

2万5千円(販売額2万円)

●使用可能期間／令和元年10月～令和2年1月末(予定)までの間

●商品券使用可能店舗／

町内の店舗を幅広く対象として公募予定

※プレミアム付商品券の販売については10月1日からを予定しております。詳細については、今後随時お知らせします。

●問／企画課企画係 ☎72-4523

「日本海と大地がつくる水と命の循環」

《第54回》 鳥海山はモンブラン？



秋田大学大学院
教育学研究科 教授
林 信太郎 氏

知でしょうか？細長いマロンペー
ストが何十本も絞り出されて、魅
力的です。鳥海山もこれとそっく
りで、細長い溶岩が何十本も流れ
出しています。なんだか鳥海山が
おいしそうに見えてきませんか？



滝の小屋からみた鳥海山の溶岩。
4本の溶岩が4本のモンブランの筋に見える。

古代の息づかいを現代へ

〜遊佐町の文化財紹介〜

遊佐町の文化財 その54

各務支考と 吹浦のシャガ

吹浦

打出で、矢の根拾はんしやがの花
『継尾集 巻之二』

打出で、矢じりを拾おう。しや
がの花が咲いていた大物忌の社に
詣でた記念として。

松尾芭蕉の高弟であり、蕉門十哲
の一人である各務支考は、元禄五（一
六九二）年、師の跡を訪ねて、『お
くのほそ道』の酒田、象潟に遊びま
した。

四月十五日、羽黒山の門前町手向
に住む俳人図司呂丸の案内で吹浦
の大物忌神社に詣でて神の由来を
聞き、里の童が神矢根（石の鏃）を
拾うのを見て、「神明の利生はこの
国に在すとなれば」とて、「随聞の
泪しばし袂を濡らし」、その夜は
吹浦に泊りました。

神矢根は、古代『続日本紀』など、
いち早く石鏃が発見された記録の
残る吹浦の名物となっていたよう
で、考古学を知らない昔の人々は、
縄文・弥生時代の遺物である石鏃を
大物忌の神威そのものの発現と考
えていました。

鳥海山大物忌神社吹浦口ノ宮で
は、今でも5月になると、本殿に続
く裏参道脇などで、ひっそりと咲く
シャガの花（アヤメ科）を見ることが
できます。



シャガ（射干）。漢名：胡蝶花

遊佐高等学校が文部科学大臣表彰

読書の推進活動が評価

遊佐高等学校が「平成31年度子供の読書活動優秀実践校」に選ばれ、4月23日(火)に国立オリンピック記念青少年総合センターにて文部科学大臣表彰を受けました。

遊佐高等学校では、図書委員会を中心に学校全体で読書活動の推進に取り組んできました。年に3回、2週間の「読書旬間」として朝の読書の時間を設ける取り組みをはじめ



図書委員会を中心にした読書活動の推進が評価されました。

め、校内掲示板を活用した図書案内や、全校生徒一人ひとりの読書傾向を踏まえた手紙「〇〇さんへすすめる本」の配布など、さまざまな読書推進活動を行っています。小規模校ならではの生徒一人ひとりの対話を通じた活動や、「ビブリオバトル」などの新たな取り組みも試行し、読書活動の推進と共にコミュニケーション能力や表現力の育成にも取り組んでいます。

3年間図書委員会に在籍し、今年委員長の務める奥山瞬さん(3年次生)は「いろんな活動をしていますが、遊佐高祭では生徒や先生方、地域の皆さんに好きな本の言葉などを紹介してもらったのが印象に残っています。私が図書委員会に入る前から継続している取り組みも多くあり、アンケートの結果を見ても学年が上がるほど本が好きな人が増えているので、取り組みの成果を感じます」と、取り組みの継続の成果を実感していました。

「太田様」の遺徳を偲ぶ …上蔵岡「太田祭」

4月25日(木)、上蔵岡大鳳館で蔵岡村の発展に大きく寄与した太田俊賢の遺徳を偲ぶ太田祭が行われました。太田俊賢は蔵岡村の大泉坊に生まれ、昭和5年に蔵岡村長に就任。道路整備を中心に地域の発展に努め、また戦時中に村が深刻な米不足に陥ると、処罰覚悟で郷蔵を開放し村民を救いました。太田俊賢は「太田様」と尊敬され、大鳳館前には胸像がたてられています。



蔵岡小学校6年生による大型紙しばい「太田俊賢翁伝」の発表も行われました。

議員報酬額について答申

4月25日(木)、特別職の報酬等審議会より、町長に答申書が手渡されました。この答申は、3月29日(金)に町長より議員報酬額について諮問を受けてのもの。町では答申を受け、議員報酬額の条例改正について町議会5月定例会に上程しました。議会の結果については、町議会HPをご覧ください。



報酬等審議会長より町長へ答申書が手渡されました。

フォト トピックス

Photo
Topics



未来を担う子どもたちへ



加藤総業株式会社より、町内の小中学校へ譜面台や再生機器などの教材備品のご寄付をいただきました。ありがとうございました。

ひっそりと咲く美しさ



5月11日(土)12日(日)、生涯学習センター2階大会議室で春の山野草展が開催されました。会場には部屋いっぱいの山野草の鉢が展覧され、奥ゆかしい美しさで来場者を迎えました。

種蒔き爺さん現る



5月の遊佐町は田植えのシーズン。鳥海山には雪渓が形作る「種蒔き爺さん」も現れ、一緒に農作業にいそしみました。



1区を担う選手たちが一斉にスタートを切る。(月光橋)

4月27日(土)から29日(月・祝)にかけて、第64回山形県縦断駅伝競走大会が開催されました。県縦断駅伝は、県内11チームが全29区間305・3kmを3日間かけて襷をつなぐ駅伝大会。1日目の第1区は遊佐小学校南側の月光橋からスタートします。町からは高橋英勝コーチ(駅前一区)、菅原翼選手(野沢上)、高橋虎太郎選手(駅前一区)、鈴木陽佑選手(升川)の4名が酒田飽海チームで出場。3日間の激戦に挑み、総合順位4位と健闘しました。

3日間全力で走り抜く 第64回山形県縦断駅伝競走大会



遊佐小学校の4年生も参列しました。

5月15日(水)、八日町本願寺で遊佐町四大祭のひとつ、諏訪部祭が行われました。遊佐郷は1804年(文化元年)に発生した鳥海山の噴火と大地震により、大きな被害を受けました。当時の代官であった諏訪部権三郎定令は、殿様の許可を待たずに郷藏を開けて人々に米を与え、多くの人の命を救いました。

この日は諏訪部権三郎に感謝の意を伝え、八日町代官舞保存会による代官舞の奉納や郷土の歴史講話が行われました。

遊佐郷を救った代官の思いに報いる …遊佐町四大祭「諏訪部祭」

まちかど ホット ライン



読者の広場



「当たり前」と感じていることは、実は当たり前じゃないかも？

創作脳でふるさとを見る
：遊佐町小・中学校教職員全体研修会

5月13日(月)、生涯学習センターで遊佐町小・中学校教職員全体研修会が開催されました。この日は

作家・脚本家として活躍し、NHK山形の方言バラエティ番組「今夜はなまらナイト」の立ち上げに参加、出演されたあべ美佳氏を講師に迎え、『創作脳でふるさとを見る』と題した講演を行いました。

「創作脳とは、当たり前前を当たり前前にしない脳のこと」自分の主観で見ると当たり前だと思っていたことも、物語のシナリオにして見直してみると、案外当たり前前じゃなかったということに気がつきます。客観的・俯瞰的な視点で見る・考えることによって、今まで主観では見えなかった・気がつかなかったものが見つかり、ふるさとがもっと好きになる、解決すべき問題点が見えてくると、自身の生い立ちや作家活動での経験も交えてお話されました。子どもたちの教育に限らず、何事も視点を少し上げてみると、また違ったものが見えてくるかもしれませんね。

さあ、鳥海山を楽しもう！ 鳥海ブルーライン開通式

4月26日(金)、鳥海ブルーラインの開通式が行われました。大型連休を前に麓の小野曾ゲートには多くの車両が列をなし、開通を今か今かと待ちわびました。開通式では安全祈願のあと、鳥海太鼓の演



雪の回廊を堪能

奏を背にゲートが開通。今年は4月に入ってから降雪が見られ、大平山荘周辺では見事な雪の回廊を楽しむことができました。また、2合目付近の湿地では水芭蕉も見ごろを迎え、群生する可憐な花をひと目見ようと訪れる方も多く見られました。鳥海山にもいよいよ山岳観光シーズンが到来しました。

交通安全のまちをめざして 春の交通安全県民運動合同出発式

5月11日(土)から20日(月)の春の交通安全県民運動の前に、5月10日(金)、酒田警察署で春の交通安全県民運動合同出発式が開催されました。出発式では、酒田飽海地区の交通安全を担う各団体が集結し、「よく見て 確認 ゆとり行動」をスローガンに交通事故防止の徹底を誓いました。西荒瀬保育



登場者大募集！

広報ゆぎでは、遊佐の若者を紹介するコーナー「きらっと・ナウ」を連載しています。登場者を随時募集していますので、我こそはという方はぜひご連絡ください。

●対象／町内に住む若者の男女

※自薦・他薦どちらでも構いません。ただし、他薦の場合は本人の了解を得た上でお願いします。
※独身・既婚問いませんが、お子さんの紹介はできません。

●問／企画課企画係

☎72-4523

3月12日(火)から5月26日(日)にかけて、あぼん西浜の展示コーナーでステンドグラス展が開催されました。展示されたのは佐々木みづ子さん(上大内)の作品42点。ウサギやフクロウなどの動物や、遊佐町の町章といったユニークな題

幻想的な光の彩り あぼん西浜でステンドグラス展



県内一斉に交通安全の呼びかけが行われました。

園児による元気いっぱい交通安全宣言が行われると、参加者の見守る中、白バイを先頭に各地区へ広報車両が出発し、交通安全の呼びかけを行いました。これからの季節は農作業の本格化など、屋外での活動が活発化し、交通事故の発生が懸念されます。運転手も歩行者も安全確認をしっかりと行い、交通事故ゼロの町をめざしましょう。

5月中旬から下旬にかけて、町内の各小学校で田植えの体験学習が行われました。田植えを行ったのは5年生の児童たち。体験学習では地域の農家の方が先生となり、苗の植え方をレクチャーしました。児童たちは裸足で田んぼに入ると、「冷たい!」と言いながら楽しそうに田植えを開始。泥だらけになりながらも、昔ながらの田植え作業を体験しました。今回植えた苗は、秋に行う収穫体験学習で刈り取る予定。収穫したお米は、収穫

おいしいお米に育ってね! …町内の各小学校で田植え体験

材を、美しいステンドグラスで表現しました。展示された作品は、透過光により幻想的な空間を創りだし、訪れたお客さんを楽しませました。



ステンドグラスを通した光が空間を彩ります。

投書についてのお願い

日ごろよりまちづくりにご協力いただきありがとうございます。

投書についてですが、広報での回答とならない場合についても、可能な限りお電話・お手紙等で対応できればと考えております。つきましては、投書の際はお名前、ご住所、連絡先等必ず記載をしていただきたいと思います。広報に掲載する際は、匿名・ペンネーム等での掲載も可能ですので、よろしくお願いします。

●問／企画課企画係 ☎72-4523



まっすぐ植えられるかな?
(吹浦小・箕輪の学習田にて)

祭で振る舞われます。おいしいお米に育つといいですね!

遊佐町体験ツアーで空き家をご案内

集落支援員だより



採れたての山菜を食べながら、
わらびのあく抜き講座

「遊佐町いなか暮らし体験ツアー」が、NPO法人いなか暮らし遊佐応援団主催で5月3日から5日にかけて開催されました。千葉県と東京都から2組3名をお迎えし、蕨岡の大御幣祭の他、観光地の見学、山菜の収穫と調理体験を通して、遊佐町を体験していただきました。また、移住相談や町内の空き家案内も行いました。空き家は全て広さや環境、造りも違いますので、ご自分の目で確認して体感することが大切です。私たち集落支援員は、納得がいくまでご案内しますので、何度でもおいでください。

集落支援員 渋谷一行、佐藤正子

☎72-3981 FAX28-8455 (集落支援員事務所:Aコープゆざ店2階)